

2026 年度

NACS 中部支部 活動報告書

I. 2025 年度活動報告	… 1～21
1. 活動概要	
2. 各委員会より	
3. 各分科会より	
4. 各研究会より	
II. 2025 年度予算執行状況	… 22
III. 2026 年度運営方針、予算	… 23
IV. 賛助会員・支部会員数	… 24
V. 2026 年度運営体制	… 24

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 中部支部

2026 年 5 月



I. 2025 年度活動報告

支部および分科会、ならびに本部諸事業におきましては、運営委員を中核に据え、会員各位の多大なるご支援とご協力のもと、滞りなく遂行することができました。

消費者啓発および人材育成の領域では、当協会が注力する「シニアの ICT リテラシー向上」「標準化普及」「食品ロス削減」等の啓発活動を強力に推進いたしました。加えて、地方自治体との緊密な連携により、環境関連イベントや出前講座を挙行し、地域社会への貢献に努めてまいりました。

会員支援におきましては、支部大会や研修会の企画・開催をはじめ、各分科会の特色を活かした諸活動を展開するとともに、会報誌やメーリングリストを通じて機宜にかなった情報発信に注力いたしました。

組織運営の面では、持続的な活動基盤の構築に向け、活動に精励する会員を新たに運営委員として招聘いたしました。これにより、執行体制を 16 名から 21 名へと拡充・強化するとともに、次代を担う人材への若返りを図った次第です。

1. 活動概要

1. 消費者啓発と人材育成

企業や行政と協働、連携し消費生活全般についての講座、セミナー等を開催した啓発活動及び人材の育成を行う事業を実施しました。

(1) 講師派遣事業 ▶詳しくは学校教育報告 P6 を参照

学校および自治体からの講師派遣依頼に対応し、専門性を持つ会員講師を派遣しました。

- ・食品ロス、エシカル消費出前講座 3 件、消費者トラブル防止出前講座 1 件

(2) 経済産業省受託事業「NACS 標準化セミナー in 中部大学」▶詳しくは事業委員会報告 P8 を参照

大学生を対象とした標準化セミナーを中部大学・名古屋市と共催開催しました。

- ・対象は中部大学経営情報学部「経営環境」を受講する 137 名。支部会員はファシリテーター及びコメンテーターで参加しました。

(3) Google 事業「シニアの ICT リテラシー向上啓発」▶詳しくは総務委員会報告 P9 を参照

ICT 啓発リーダー育成ワークショップの開催、岐阜県消費生活出前講座での ICT 関連のワークショップを開催しました。また教材のリニューアルを実施しました。

(4) 日本産業協会事業「消費生活アドバイザー有資格者交流会」▶詳しくは事業委員会報告 P7 を参照

消費生活アドバイザーの有資格者が集う場を設け、NACS の紹介をおこないました。

(5) ㈱ジャパンガスエナジー事業「トークコンテスト審査員」派遣 (9 月 12 日)

LP ガス販売業者の営業トークを競うコンテストの審査員として会員 2 名を派遣しました。

(6) 愛知県電機商業組合「消費者懇談会」参加 (2 月 12 日)

地域の電機小売業者組合との懇談会に会員 2 名を派遣しました。

(7) 行政イベントへの参画 ▶詳しくは事業委員会報告 P7 を参照

地域の行政が主催する啓発イベントにブース参加しました。

- ・名古屋市「環境デーなごや☆2025」、愛知県「Let's エコアクション in AICHI」、
「令和 7 年度名古屋市消費生活フェア」

2. 支部運営と会員の相互研鑽や交流

(1) 支部大会

5 月 31 日午後、名古屋市内貸会議室にて開催しました。

来賓として中部経済産業局産業部消費経済課課長の坂様をはじめ行政、賛助企業、関係団体の方々にご列席をいただき、合わせて 63 名 (内、オンライン 21 名) の参加を頂きました。

恒例の講演会は、講師にあいち・なごや強靱化共創センター長 福和伸夫氏をお迎えし「温故知新で南海トラフ地震に備える」と題してご講演をいただきました。

- (2) 運営委員会・全体会議の開催 ▶詳しくは総務委員会報告 P9 を参照
支部活動の円滑な運営のため月 1 回開催を基本として、運営委員会を実施しました。
また、年度末には運営委員と分科会代表、副代表を交えた全体会議を実施しました。
- (3) 分科会活動 ▶詳しくは各分科会報告 P10～15 を参照
愛知県を除く 6 県に 4 分科会があり地域ごとに特色のある活動を進めています。
・静岡分科会、三重分科会、岐阜分科会、北陸分科会(福井県、石川県、富山県)
- (4) 消費生活に関する研修会・自主研究会活動
会員の学ぶ意欲に応えるため研修会を開催すると共に、自主研究の場としての 4 つの研究会が活動しています。
・研修会では対面とオンラインを活用し 3 回開催しました。 ▶詳しくは研修委員会報告 P5 を参照
・自主研究会は名古屋市を拠点に 4 つが活動しています。 ▶詳しくは各研究会報告 P16～21 を参照
研究会 ACT(1995 年～)、食生活研究会(1999 年～)、AD・CS 研究会(2003 年～)、
超スマート社会研究会(2014 年～)
- (5) 合格祝賀会&仲間づくりの会
消費生活アドバイザー新資格者への NACS 活動紹介と NACS 会員との交流会を開催しました。
・2026 年 3 月 14 日、名古屋市ウインクあいち、支部活動紹介、研究会活動紹介 等

3. 会員への情報提供と広報活動

メーリングリストおよび会報誌「セントラルC+」により会員へ活動情報を提供しました。

- (1) メーリングリストによるタイムリーな情報提供 ▶詳しくは広報委員会報告 P4 を参照
イベントなどの開催案内、募集は本部マイページからご案内すると共に、メーリングリストも補足的に用いてタイムリーな情報の提供に努めました。
- (2) 会報誌「セントラルC+」の発行 ▶詳しくは会員活動委員会報告 P3 を参照
各委員会、分科会および研究会での活動内容を四半期毎にまとめ電子版で紹介しました。
- (3) 支部ホームページの管理 ▶詳しくは広報委員会報告 P4 を参照
定期や随時に発生する情報をタイムリーにホームページに掲載しました。

以上

2. 各委員会より

会員活動委員会

会員活動委員会は、会員の活動を活性化するために以下の活動をしています。

(1) 中部支部 会報誌「セントラルC+」作成

中部支部の行事や分科会・研究会等の活動報告を会員に執筆していただき、その原稿を編集して年4回、季節ごとに会報誌「セントラルC+」を作成しています。「セントラルC+」は、創設当初からモノクロの紙媒体を中部支部の全会員と賛助会員様、行政機関様に郵送しておりました。しかし、環境への配慮・デジタル化・業務の効率化のため、2019年秋号(10月発行)から電子化を進め、2022年春号より従来の紙媒体を完全に廃止し、電子版のみになりました。

電子化により写真がカラーで見られるようになり、臨場感あふれる活動報告書となりました。文中のリンクから見学した施設などの情報をさらに深く知ることができるページもあります。研修会の実施報告では、研修内容の復習ができるよう、概要と会員の感想を掲載しています。読者からは「興味あるページを印刷してじっくり読んでいる・カラー写真になって活動内容が生き生きと伝わってくる・いつでもスマホで見ることができる」との感想をいただいています。

毎年春号には、全ての分科会・研究会の活動報告を掲載しており、新入会員への活動紹介や有資格者交流会の掲示物に流用し、執筆者の負担を減らしています。

[会報誌 セントラルC+ - NACS 中部支部](#) 過去のC+も掲載しています。

会員ページへは ユーザー名 nacs-chuubu パスワード chuubu-7ken

(2) 大人の遠足を実施

会員活動委員会としてはじめての試みで、盛田株式会社様の小鈴谷工場で開催された「ねのひ蔵開き」に有志会員で行きました。難しく考えず、まずはやってみようということで、あえて講演など特にイベントを設けない行事にしました。参加者からは「テーマが決まった学習会ではないが、様々な発見があった・今後の活動のアイデアを考えるきっかけになった」等の感想をいただきました。

(3) 有資格者の集い・交流の場作り

他の委員会と協力して、新資格者の集い「合格お祝いと仲間作りの会」や消費生活アドバイザーの更新講座時に同時開催する有資格者交流会の運営にも携わりました。これらの活動を通して、新規入会者を増やしたり、会員が交流したりできるような場作りを目指しています。また、HPに「セントラルC+」の最新号が掲載されたら、メーリングリストで中部支部の会員にお知らせし、その際メール本文中と件名に、近日行われる行事等の案内を掲載しています。

今後は会員活動委員会が“笑顔で泥くさく”皆様からの要望を聞き出したり、興味のあるような行事にお誘いしたり、「これなら参加できそう」なNACS中部支部の活動を模索していきます。ご提案がある方は、お気軽に会員活動委員会へご連絡ください。

会員活動委員会の連絡先：kaiin@chuubu.nacs.or.jp



2026年 C+春号の表紙です。

大人の遠足と新資格者の集いの写真を掲載。支部行事の写真や会員の「とっておきの一枚」を掲載することも。

[会報誌 セントラルC+ - NACS 中部支部](#) からご覧ください。

*2ページ目以降は、見学会・研修会の実施報告や分科会・研究会の活動報告など。

*中部支部会員の活動やほっこりする話の数々が盛り込まれています。

*過去の研修内容の復習や参加できなかった支部行事の様子がわかります。

広報委員会

広報委員会では、中部支部ホームページの管理、Zoom 会議設定、編集、メーリングリストの管理・運用等を担当しております。

中部支部会員、会員外への広報として、ホームページは重要なツールです。2025 年度は、昨年度実施したホームページリニューアルに伴い、メンテナンス方法が変更となりました。そのため、マニュアルを作成し、委員会内で共有しました。現在は 3 名で協力し、ホームページのメンテナンス（編集・更新）にあたっています。

本部広報委員会にも参画し、各支部の状況の共有や会報誌 NACSnews の編集にも参画しています。2026 年度も継続して取り組んでまいります。

2025 年度に双方向コミュニケーション手段として LINE オープンチャットを立ち上げました。

ご意見やご要望等がございましたら、ぜひ、広報委員会までメールにてお寄せください。よろしくお願いいたします。

広報委員会の連絡先：kouhou@chuubu.nacs.or.jp

(1) メーリングリスト

新規登録・アドレス変更は随時受け付けておりますので、中部支部会員ページの「メーリングリストの登録・変更」よりお申し込みください。

- ・現在登録者数 219 名（総会員数 238 名）
（愛知 137 名、静岡 38 名、三重 23 名、北陸 20 名、岐阜 18 名、他 2 名）
（2026 年 4 月時点で、全会員数の 92.0%の方に、ご登録頂いております。）
- ・配信状況 約 30 件/年

(2) ホームページ

トップページは、バナーにて募集中の活動を一目で確認できます。活動のお申し込みは、申し込みフォームから簡単に行っていただけますので、ぜひご活用ください。また、お知らせページにて最近の活動状況や中部支部の会員ページでは、活動の報告も掲載しています。ぜひご覧ください。

主な更新内容 2025 年 4 月～2026 年 3 月

コーナー	時期	更新件数	内容
新着情報	随時	6 件	情報掲載
会員向け新着情報	随時	4 件	情報掲載
活動カレンダー	都度	Zoom 予約の登録	55 回
運営委員会議事録	毎月	11 回	PDF ファイルの登録
会報誌「セントラル C+」	四半期	4 回	PDF ファイルの登録
全体会議議事録	3 月	1 回	PDF ファイルの登録
支部大会告知	4 月	1 回	PDF ファイルの登録ほか
トップページ画像	不定期		適宜差替え

- ・広報委員会では、定期や随時に発生する情報を、タイムリーにホームページに掲載できるよう、複数名がホームページ更新できる体制の構築や、分かりやすいマニュアル作成にも取り組んでまいりました。2026 年度も継続して取り組んでまいります。
 - ・本部広報委員会と連携した活動についても継続して検討してまいります。
 - ・LINE オープンチャットについて、支部運営委員のスペシャルメンバーとも協力して参加者数の増加、活性化策を進めてまいります。
- ※オープンチャットへは、こちらの QR コードからご参加いただけます。



研修委員会

2025年度におきましては、対面1回、オンライン2回の計3回の支部研修会を実施いたしました。

(1) 第1回研修会 「住まいのにおいについて」 (参加者数：30名)

2025年11月8日(土) 14:00~16:00、Zoomを利用したオンライン開催にて、花と香りの研究所の長谷博子氏を講師にお招きし、住まいのにおいについてご講演いただきました。講義では、においの測定やにおいを感じる仕組みのほか、軽度の認知症患者の生活にハーブと柑橘系のにおいを取り入れたことで認知機能が改善した事例、換気による嫌なにおいの改善法が解説されました。また、最近問題になっている「香害」や、アロマテラピーを使った消臭と注意点などについて興味深いお話を聞かせていただき、講義後には多くの質問が出るなど学びの多い研修会となりました。事後アンケートではほぼ全員が満足と回答し、自由記述からは「感覚的にしか捉えていなかった匂い・臭いについて科学的に説明していただき興味深く拝聴した」「物理的な対策として換気が大切なことがわかった」など、基礎知識の習得や実生活に役立つ深い学びを得たとの意見が寄せられました。一方で「専門的な事項が難しかった」「日常的な家のにおいについて事例を基に解説いただけるとよかった」など、より実践的な内容を求める声もあがりました。

(2) 第2回研修会 「そんぼ勉強会—自然災害と損害保険」 (参加者数：25名)

2025年12月6日(土) 13:30~14:40、Zoomを利用したオンライン開催にて、日本損害保険協会中部支部の高橋勝巳氏を講師にお招きし、「自然災害と損害保険」をテーマに研修会を実施しました。講義では、火災保険の基本や政府と共同運営される地震保険の仕組みに加え、近年多発している住宅修理トラブルへの注意喚起が行われました。質疑応答では、「物価高騰下における再調達価額の妥当性」や「資産価値に見合わない高額な修理費の対応」について実践的な議論が交わされ、修理トラブルを防ぐためにも「まず保険会社に相談する」ことの重要性が参加者間で共有されました。事後アンケートの自由記述からは「地震保険の成り立ちを理解できた」「消費者にはまず保険会社に相談する段取りを周知したい」など、相談業務や啓発活動を見据えた前向きな感想が多数寄せられました。今後の課題として、「中部地方における掛け金と補償のシミュレーション」「地域別の水災・地震リスク」「過去の大災害時の具体的な支払事例」など、より地域の実情に即した詳細なデータを求める声が見られました。

(3) 第3回研修会 「PFAS『永遠の化学物質』という異名を持つ環境汚染物質」

(参加者数：23名)

2026年1月31日(土) 14:00~16:00、名古屋市消費生活センター消費者研修室にて、元愛知県衛生研究所衛生化学部長の猪飼誉友氏を講師にお招きし、「永遠の化学物質」とも呼ばれる環境汚染物質、PFASをテーマにご講演いただきました。講義では、PFASの有用性と自然界で分解されにくい安定性、人体への蓄積や健康リスク、国内外の規制や汚染状況のほか、家庭用浄水器での除去効果やテフロン製品の安全な使用法など、生活に密着した対策が解説されました。事後アンケートでは参加者全員が研修に満足し、「PFASへの理解が深まった」と高く評価されました。自由記述では「具体的なデータを用いた分かりやすい説明だった」「全てのPFASが危険ではないので、正しく恐れることが大切だと分かった」など、漠然とした不安が解消され本質的な理解に繋がったことがうかがえる感想が多く寄せられました。また、「ダイオキシンなど以前話題になったテーマの現状を知りたい」といった今後の企画への前向きな要望も寄せられ、参加者の関心の高さが際立つ有意義な研修会となりました。



2026年度も多くの方々に支部研修会へご参加いただきますよう、よろしくお申し込み申し上げます。

研修委員会の連絡先：kenshuu@chuubu.nacs.or.jp

(本部事業) 学校教育

2025 年度実績

NACS では本部事業として「講師派遣事業」を行っています。2025 年度の中部支部での講座の実施は以下の通りです。

実施年月日	主催者	講座名	受講生	実施者
2025 年 7 月 2 日	名古屋大学 教育学部	キャリアデザイン演習 「若者の消費者トラブルと その対処法」	60 名	北川住江 高木友美
2025 年 10 月 30 日	豊田市立 五ヶ丘東小学校	食品ロス削減 ～自分で出来ること～	19 名	山田勲
2025 年 11 月 4 日	愛知県立瀬戸北 総合高等学校	エシカル消費について知ろう・考 えようーチョコレートを題材に	40 名	浅野智恵美
2026 年 1 月 23 日	名古屋市熱田生 涯学習センター	「地球にやさしい生活の仕方～ 食品ロスやごみの問題などから 考えよう」	43 名	浅野智恵美

2026 年度実施計画

現時点で本部から割り当てられる講座実施目標数は未定です。
昨年と同様に、当支部としては会員に本事業についての周知を随時行い、地域からの講座等のニーズを引き出し開拓していただけるしくみについて検討して参ります。また、様々なキャリアをお持ちの会員の皆様から、積極的に講師としての活動機会に参画いただき、NACS ならではの消費者教育を展開していただきたいと思っております。

事業委員会

2025年度は、事業委員会に係る事業を5回開催しました。各事業の実施概要を報告いたします。

(1)「2025年度消費生活アドバイザー有資格者交流会」を開催しました。(6月28日開催)

2025年6月28日(土)「2025年度消費生活アドバイザー資格者更新講座」が、(一財)日本産業協会により、名古屋市IMYホール6階第3会議室にて開催されました。更新講座の開催に合わせて、同日同ホール隣の第2会議室を会場として「2025年度消費生活アドバイザー有資格者交流会」を開催しました。交流会は(一財)日本産業協会との共催で、NACS中部支部として4回目の開催となりました。

交流会の目的は、更新講座受講者や他の有資格者に「交流の場」として活用してもらうことでした。

そのための内容として、①消費生活アドバイザー活動のヒントになる活動例を提示する ②来場者の日常活動や問題点などについて、相談・情報交換をおこなう ③来場者にNACS及び中部支部の活動を知ってもらう ④掲示資料にクイズをちりばめる ⑤「あなたの声を聴かせてください」として来場者の色々な声を書き込んで頂く、の5点を中心としたポスター掲示やスタッフ対応を実施しました。

来場者からは、36件の貴重な声を頂きました。またアンケートでは「交流会に参加して良かった」「次回も参加したい」という肯定的な意見がほとんどとなりました。



〈交流会の様子〉

(2)名古屋市「環境デーなごや☆2025」へ ブース出展しました。(9月13日開催)

9月13日(土)名古屋市「久屋大通公園」にて「環境デーなごや☆2025」が開催されました。

このイベントは、名古屋市民・事業者・行政の協働のもと、よりよい環境づくりに向けた具体的な行動を実践する「きっかけづくり」の場として、2000年以降毎年開催されている環境イベントです。

26回目となる今年のテーマは「つながり！未来(あす)の地球へ」でした。今年は、愛・地球博の開催から20周年、これまでの歩みを振り返るとともに、一人ひとりが環境のために何ができるか考

え行動することで、未来の地球のために取り組みの輪をつないでいくきっかけにするという趣旨で開催されました。

企業・団体などの出展により、約100ブースの大集合イベントとなりました。

NACS中部支部は、「環境デーなごや2025」の開催趣旨に基づき、初めてブース出展致しました。

「Let's エンジョイ エシカルライフ～私たちの選択で未来を変えよう!～」と題しての出展でした。

エシカル消費に関するパネル展示とエシカル認証マークの紹介、エシカル消費行動アンケートにより、来場者に「環境に配慮したライフスタイル」の提案啓発活動を行いました。

来場者にはクイズと同時に「エシカル・ライフ アンケート」にも答えて頂きました。有効回答数は、予想を上回り184となりました。「エシカル・ライフに取組みますか？」の問いに、回答者の全員が「取り組む」と答え、そのうち71.2%が「すぐに取り組む」と回答していました。

今回のフェアは、ステージイベントなども充実しており、予想以上の来場者数となりました。

尚、今回のブース出展準備・運営は、「超スマート社会研究会」のメンバーで行いました。



〈ブース出展内容〉

(3)愛知県「Let's エコアクション in AICHI」へ ブース出展しました。(10月19日開催)

10月19日(日)岡崎市「乙川河川緑地」にて「Let's エコアクション in AICHI～遊んで学んでエコ体験♪始めよう地球にいいこと～」が開催されました。このイベントは、県民の「環境配慮行動(エコアクション)」を広げるため、エコアクションを楽しみながら学ぶことができる県民参加型の環境イベントとして、愛知県の主催で開催されました。

NACS 中部支部は、イベントの開催趣旨に基づき、2019 年以來の 2 回目のブース出展となりました。タイトルは「Let's エンジョイ エシカルライフ～私たちの選択で未来を変えよう!～」としました。

エシカル消費に関するパネル展示とエシカル認証マークの紹介、エシカル消費行動アンケートにより、来場者に「環境に配慮したライフスタイル」の提案啓発活動を行いました。

来場者にはクイズと同時に「エシカル・ライフアンケート」にも答えて頂きました。有効回答数は、予想を上回り 181 となりました。「エシカル・ライフに取組みますか?」の問いに、回答者の全員が「取り組む」と答え、そのうち 70.2%が「すぐに取り組む」と回答していました。

今回のフェアは、関連イベントやステージイベントなども充実しており、予想以上の来場者数となりました。尚、今回のブース出展準備・運営は、「超スマート社会研究会」のメンバーで行いました。



〈出展ブースの様子〉

(4) 「令和 7 年度名古屋市消費生活フェア」へ ブース出展しました。(11 月 15 日開催) 「エシカル消費～誰でも 気軽に いま、はじめよう!～」をテーマとして「令和 7 年度名古屋市消費生活フェア」～ なごやエシカルフェア☆2025～ が名古屋市の主催で開催されました。

人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」をはじめとした消費生活に関する様々な知識を、展示や動画、体験ブースなどを通して楽しく学んでもらうイベントです。

NACS 中部支部は、「子や孫への幸福な未来につなげるマークを商品購入時の参考にしてみませんか」のテーマで出展しました。出展準備から開催当日の運営は、AD・CS 研究会のメンバーが実施しました。

来場者に、クイズとアンケートも実施しました。回答数は、予想より多く 273 件でした。

フェアは、「オアシス 21 銀河の広場」で開催され、61 団体が参加しました。当日の会場全体の来場者数は、8,000 人となり大盛況でした。〈画像等詳細は、ADCS 研究会活動報告をご参照ください〉

(5) 「NACS 標準化セミナー in 中部大学」を開催しました。(11 月 26 日・12 月 3 日開催)

～標準化って何だろう～「あなたの知らない標準化の世界」〈標準化のたねを探そう〉のテーマで、「NACS 標準化セミナー in 中部大学」を開催しました。セミナーは、令和 7 年度経済産業省委託事業として、中部大学・名古屋市・NACS 中部支部のコラボレーションで開催しました。中部大学での標準化セミナーは、7 年連続の開催となりました。

セミナーのねらいは、「標準化について学んできた幅広い知識を活用し、グループワークで更に理解を深め、標準化の重要性・必要性を学ぶ」ことと「消費者視点による標準化のたね探し、標準化することによる課題解決方法と期待される効果を検討する」ことの 2 点でした。

セミナー対象者は、中部大学経営情報学部で「経営環境」カリキュラムを受講する 137 名でした。また、ファシリテーター 9 名及びコメンテーター 7 名が NACS 中部支部より参加しました。

プログラムは、前半 11 月 26 日(水)…第 1 部…講義①「SDGs とエシカル消費～名古屋市の取り組み」②「～標準化って何だろう～あなたの知らない標準化の世界」…第 2 部…グループワーク「標準化のたね探しと解決策について」…後半 12 月 3 日(水)…第 3 部…グループ代表者による各グループ別発表・グループ別コメント及び全体講評・参加者全員による各グループ別評価の 3 部構成でした。

グループワークには、NACS と名古屋市のメンバーがファシリテーターとして、各グループの積極的な討議に加わりました。更にグループ代表者発表会では、NACS と名古屋市のメンバーはコメンテーターとして参加し、発表内容の評価も致しました。

受講後のアンケートでは、回答者のほぼ全員が「参加してよかった」「標準化について理解が深まった」と答え、セミナーの満足度は高い結果でした。



〈セミナー会場の様子〉

事業委員会の連絡先 : chuubu_jigiyoun@nacs.or.jp

総務委員会

総務委員会は、会計業務も含め恒常的に支部活動の円滑な運営を支援する活動を展開しています。

(1) 運営委員会等定例業務について

運営委員会は、月 1 回開催。オンラインのみの会議 2 回、対面+オンラインのハイブリッド会議 9 回、対面のみの会議を 1 回実施し、研究会など同日併催も行い効率的な運営を行いました。

2015 年度以降の議事録を中部支部 HP 会員ページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

新年度は、交通費等の予算低減の面からオンライン開催を活用して活動を行いたいと考えています。

支部大会は、5 月 31 日に会場（ウインクあいち）とオンラインによるハイブリッド方式で開催。支部活動報告書は今回より冊子印刷を行わず完全電子化致しました。

(2) 全体会議

例年、分科会の代表と運営委員、代議員が参加し、年度の支部及び分科会の活動総括、今後の支部運営について意見交換を行い、新年度の活動方向性を確認しています。今年度は 3 月 14 日(土)にウインクあいちにて開催致しました。

支部長からは、支部会員減少による予算減への対応として、予算配分を支部事業予算(愛知県配分)の中で支出していた「支部大会」「全体会議」を、来年度からは支部全体で負担する配分に変更する旨提案があり、審議の結果、予算的に厳しい状況であることを鑑みこの提案に従い予算案を策定することを全体会議として了承をしました。

また、各分科会からは、分科会の壁を越えた合同例会の実施、各地域の特色を生かしたオンライン、対面を取り混ぜた多様な活動の報告がありました。各委員会からは、活発な活動実績、新年度の活動の方向性についての報告がありました。

(3) 消費生活アドバイザー受験者支援、入会促進活動

・2 次試験相談会について

昨年度に引き続き今年度も休止しましたが、合格祝いと仲間づくりの会の出席者数、入会者数は減少しており休止の影響が表れているようです。

かつて 1 次試験、2 次試験会場でのビラ撒きにより 2 次試験相談会への出席から合格お祝いと仲間づくりの会へ導入することで入会者を確保してきたような、受験者へ NACS の存在をアピールできるような活動を検討したいと考えています。

・合格お祝いと仲間づくりの会の開催

3 月 14 日(土)に中部支部主催の合格祝いと仲間づくりの会をウインクあいちで開催しました。

(4) シニアの ICT リテラシー向上啓発活動

活動の 3 本の柱について以下のように 8 年目の活動を展開しました。

・教材の開発

昨年度より開始された教材のリニューアルについて、中部支部では昨年度の「アプリのインストール編」に引き続き「コード決済編」を担当。有志会員 5 名で、ICT 環境変化への対応、複雑な表現の平易化など作業を進め 1 月末に完成致しました。

・水平展開：ICT 啓発リーダー育成ワークショップの開催

会員からの要請もあり期初 4 月 23 日に育成ワークショップを開催しました。9 名の参加を得て、活動の概要説明、リニューアル版の「アプリのインストール編」を用いた模擬講座体験など実施しました。

・垂直展開：ICT 啓発リーダーによるワークショップ開催

昨年度、岐阜県環境生活部県民生活課とコラボし、岐阜県消費者啓発推進員に会員 8 名が登録した岐阜県消費生活出前講座で ICT 関連のワークショップを開催する活動を開始。

7 月 瑞穂市十八条公民館、8 月 瑞穂市重里公民館、10 月 大垣市情報工房 において 3 回の出前講座を開催しました。新年度も活動を継続いたします。

新年度は、参画者の拡大を目指し、岐阜県とのコラボなどの大規模なワークショップに加えて、サロンのような小規模なワークショップ開催などによる更なる垂直展開活性化を図りたいと思います。

総務委員会の連絡先：soumu@chuubu.nacs.or.jp

3. 各分科会より

静岡分科会 2025-2026
2025 年度代表 河合 康成
2026 年度代表 森田 拓

2025 年度活動報告

- (1) 活動組織：分科会代表 河合康成、副代表 山岡美須永、会計 山下裕夫
委員 森脇和子・山田美代子・森田拓
- (2) 活動方針：「つなげよう・広げよう、交流の輪を！」（継続）
- (3) 行事内容

計画した例会6回を全て実施（Zoom方式：3回、リアル：1回、簡易的ハイブリッド：2回）

行事	内容	結果
第1回定例会【Zoom】 5月25日（日） （計11名）	演題：「自動車の現状と 未来」 講師：飛田宏氏（会員）	CASE（次世代自動車の方向性を示すキーワード）から自動車が移動手段⇒サービス提供型へ進化することを学んだ。
第2回定例会 7月6日（日） （計8名）	演題：「家康も過ごした駿府城の歴史浪漫をたどってみませんか」 駿府城・歴史博物館等の見学	暑いさなかであり参加者は少なかったのですが、博物館内の資料を熱心に見入り、リアルなお散歩に盛り上がった。
第3回定例会【Zoom】 9月20日（土） （静岡、三重、北陸 計20名）	演題：「各グループテーマ AIについて他」 ブレイクアウトルームに分かれテーマに沿って話し合った	普段話をする事のない3分科会メンバーがテーマに沿って話し合いお互いの距離を縮めた。AIのグループでは「二の足を踏む」という声も聞かれた。
第4回定例会【Zoom】 11月9日（日） （計11名）	演題：「コロナ禍によるコールセンターで起こった変化/今後」 講師：森田拓氏（会員）	コロナ禍になり、コールセンターは生成AIを入れたり、テレワークになり、大きく働き方が変化した。センターに関する話に皆んな興味深く聞き入った。
第5回定例会 【簡易的ハイブリッド】 1月12日（月） （リアル13、Zoom9、一般3 計25名）	演題：「生成AIは○○○ みたいなもの？ —生成AIを学んで、明日から早速使ってみよう」 講師：(株)週休3日 代表 永井宏明氏	講師と生成AIの軽妙な漫才から始まり、「人はなぜ生きるのか」という深いテーマまで話題が広がり、AIに興味を示した会員が、何人も質問し盛り上がった。
役員会 2月22日 【Zoom】（役員8名）	来年度役員体制・活動計画【案】を策定した。	
2025年度総会 （リアル10、Zoom3 計13名）	2025年度の活動報告及び次年度の体制・活動方針について、承認を得た。 【ハイブリッド方式】	
第6回定例会 3月22日（日） （計9名）	演題：「家康公も過ごした駿府城の歴史ロマン」を一緒にたどる。 ◆昼食会：10名参加	7月例会（見学会）に強い興味を持った会員の熱望による続編となった。 総会后、駿府城公園に向け出発。紅葉山公園のアオサギを眺めながら1周。その後再び桜を觀賞しつつ坤櫓を見学、満足な春の1日だった。

(4) 行政関係（敬称略）

- | | |
|------------------------------------|-------|
| ・静岡県消費生活審議会委員（令和6年9月1日～、任期2年） | 山岡美須永 |
| ・静岡市消費者教育推進地域協議会委員（～令和7年6月30日） | 山下裕夫 |
| ・御殿場市消費者教育推進協議会委員（～令和7年3月31日、任期2年） | 勝又長生 |
| ・静岡県入札監視委員会委員（～令和7年12月15日、任期2年） | 池谷てる代 |
| ・静岡県カスハラ防止対策協議会委員（令和7年3月17日～、任期2年） | 山岡美須永 |
| ・静岡県国民保護協議会委員（令和7年4月1日～、任期2年） | 山岡美須永 |

2025 年度活動報告

- (1) 活動組織：代表 陰地康行、副代表 田中睦、会計 前田芳子
 (2) 活動方針：会員の関心があるテーマを取り上げ、知識向上につなげるとともに地元三重について知り、楽しく参加しやすい分科会活動を目指す。
 (3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第 1 回 定例会	5 月 17 日(土) 10:00～13:30 伊賀上野地区 散策	地元の歴史探訪として伊賀上野地区を地元の語り部の会の方の案内による名所、旧跡を巡り説明頂いた。	参加者：11 名 当日は雨の中徒歩にて巡回し 昼食には伊賀牛のハンバーグを頂く
第 2 回 定例会	7 月 19 日(土) 10:00～12:00 アスト津 5 階 研修室	勉強会「相続の注意点」 「共同親権について」 講師：馬場弁護士 リベラ法律事務所	参加者：13 名 身上監護権、財産管理権・代表権改正後の説明など。改正で何が変わった。改正は令和 8 年 5 月ごろ。
第 3 回 定例会	9 月 20 日(土) 10:00～11:30 Zoom による 合同定例会	静岡分科会北陸分科会合同 例会	参加者をブレイクアウトに分けて テーマをルームごとに設定し自由に 討議頂き最後に発表頂いた。
第 4 回 定例会	11 月 15 日(土) 10:00～12:00 アスト津 5 階 研修室	勉強会「豊かな老後」につ いてのためのお金の話 講師：生川奈美子氏 金融広報委員会 (J-FLEC)	参加者：12 名 豊かな老後の生活ためにして置きたい お金に関することをお話しいただ いた。
第 5 回 定例会	1 月 17 日(土) 10:00～13:00 アスト津 5 階 研修室 B	次年度分科会行事検討会 新年互礼会開催。	参加者：14 名
第 6 回 定例会	3 月 14 日(土) 10:00～12:00 アスト津 5 階 研修室	勉強会「三重の食状況につ いて」 講師：駒田亜衣氏 三重短期大学食物栄養学科 教授	参加者：10 名 健康と食生活に関する問い 三重の健康づくり基本計画 三重の状況と問題点、その 解決方法等を講義いただいた。

2025 年度を振り返って

専門知識アップデートとして各回ごとにテーマを決めて勉強会と地元の発見を進めてきました。今回他県の分科会との交流を計画し Zoom による北陸、静岡合同例会を実施致しました。参加者数の減少など上手く行かない事もありました。次年度も同様なテーマに沿って、さらに違った視線からも検討して進めて参ります。

2026 年度活動方針

本年度も会員各位のスキルアップと地元の文化や歴史探究を基本に、他分科会との交流会や会員内での自主勉強会も実施し明るく楽しく活動し全員参加を目指します。
 ハイブリッドなども活用していきたいと思えます。

2025 年度活動報告

- (1) 活動組織：分科会代表 山田圭子、副代表 堀部葉子、会計 北川住江
 (2) 活動方針：メンバーの持ち味をさらに発揮し、幅広い活動を目指す。
 自身の資質向上はもとより、人生を振り返りつつ、未来を拓く活動につなげたい。
 様々な課題に取り組みつつ、メンバーの絆をさらに強固にしていきたい
 (3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第1回 定例会	4月26日(日) 10:00~12:00 ハートフルスクエア G	・2025年度活動計画	・フィールドワークや講座など学びたいことを出し合い、大まかな日程を検討
第2回 定例会	6月29日(日) 10:00~12:00 ハートフルスクエア G	・健康で快適に暮らすため自分の身体を知ろう	・健康とはどんな状態をいうのか。 ・講義と姿勢チェック ・簡単な運動を実施
第3回 定例会	7月21日(月) 19:00~20:30 LINE 通話	・「薬膳料理教室」詳細検討	・講師：山岸千代栄先生の要望と会場手配の段取り ・参加者数とメニューについて 等
第4回 定例会	10月18日(土) 10:00~16:00 ドリームシアター 調理室	・体の声を聴きながら おいしく健康に ・フィールドワーク打合せ	・キノコの炊き込みごはん、お味噌汁豆乳プリンを調理し、旬の食材と発酵パワーで体をいたわる食事を学ぶ (C+冬号に投稿)
第5回 定例会	11月29日(土) 10:00~16:00 ながら川 ふれあいの森	・無理なく 楽しく がんばらない 健康ウォーキング	・三田洞弘法の庭見学と菜飯ランチ ・健康指導員とともに体調観察しながらの山道散策で、健康維持を学び、景色と軽い運動を楽しめた。
第6回 定例会	2月28日(土) 10:00~12:00 ハートフルスクエア G	・2025年度の総括 ・2026年度の企画検討	・急用で欠席者が多く、まとまらなかったため、3月に再度定例会を開催することとした。
第7回 定例会	3月20日(祝・金) 10:00~12:00 ハートフルスクエア G	・2026年度の企画検討	・フィールドワークとして工場見学を2件候補とし、詳細を詰めることとした。 ・静岡分科会からの合同開催の打診に対し、ご一緒させていただくよう回答することとした。

2025 年度を振り返って

定例会開催は例年より少なかったが、「健康」に向き合った一年となった。

6月は会員講師の室内行事、10月は外部講師との実習、11月は行政と連携した屋外行事とバラエティに富んだ内容となった。楽しく人生を送る基礎となる「健康」を考えることは重要な活動であると捉え、仲間との絆を深めていきたい。

2026 年度活動方針

メンバーの持ち味をさらに発揮し、幅広い活動を目指し、資質向上に努めたい。また、人生を振り返りつつ、未来を拓く活動につなげ、様々な課題に取り組みつつ、メンバーの絆をさらに強固にしていきたい。

2025年度 各種講座の様子

1) 6月29日 「健康で快適に暮らすため自分の身体を知ろう」 講師：山田圭子（NACS 会員）



2) 10月18日 「薬膳教室」 講師：山岸千代栄 先生



キノコの炊き込みご飯・根菜のお味噌汁・豆乳プリン

3) 11月29日 「クアオルト健康ウォーキング」 講師：岐阜市健康づくり課



2025 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 橘宏和、副代表 片谷千恵子、会計 橘宏和

(2) 活動方針：

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広める。
- ・北陸分科会会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する。

(3) 行事内容

日時	場所	テーマ	実施内容
第1回定例会 9月20日(土) 10:00~11:30	静岡&三重分科会 合同定例会 (Zoomによるオンライン会議)	分科会会員同士の交流を目的に、テーマに沿ってグループ毎に意見交換を実施	事前にテーマを決めておき、当日に参加会員にグループ分けを公表して、ブレイクアウトルームで意見交換を実施していただき、最後に各グループから発表していただく。 当分科会からの参加者6名
第2回定例会 3月29日(日) 10:00~11:00	Zoomによるオンライン会議	・2026年度北陸分科会運営方針及び分科会人事について協議 ・2026年度活動計画の策定	2026年度の分科会活動方針、及び分科会人事について協議・決定するとともに、会員相互の近況報告を行った。 参加者9名

2025 年度を振り返って

2025年度は、当分科会活動の大きな方針となっている「会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する」活動を計画していましたが、リモートによる2回の定例会活動となりました。

なお、2024年度に初めて開催した他の分科会会員とのリモートによる定例会を2025年度も継続して開催し、会員相互の交流を図ることが出来ました。

2026 年度活動方針

2026年度もこれまでと同様に、北陸3県の各地を直接訪ね、地域の再発見に繋げるとともに、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する活動を行います。

活動内容につきましては消費生活アドバイザーとしての知見を広げるとともに「参加して良かった」と思っただけの内容とし、多くの会員に参加していただけるよう計画して参ります。

<活動方針>

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広める。
- ・北陸分科会会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する。

<活動組織>

代表	橘宏和 (石川)	福井県代表	片谷千恵子
副代表	片谷千恵子 (福井)	石川県代表	北川智重子
会計	橘宏和 (石川)	富山県代表	川合芳明
代議員	橘宏和 (石川) 任期：2年		

4. 各研究会より

研究会 ACT 2025-2026
2025 年度代表 荒川 美枝子
2026 年度代表 渡辺 景子

2025 年度活動報告

- (1) 会員数 : 5 名
(2) 活動方針: 暮らしに関わるさまざまな問題に対し調査・研究・提言することを目的として活動
(3) 行事内容

行 事	開催日・場所	内 容	参加
4 月度定例会	4 月 23 日(水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F	・会計報告 ・今年度の活動スケジュール	5 名
6 月度定例会	6 月 11 日(水) 13:30~15:30 伏見ライフプラザ 11F	・ボランティア保険の加入報告 ・新プログラムの検討	5 名
7 月度定例会	7 月 16 日(水) 13:30~15:30 伏見ライフプラザ 11F	・サロン笑話会の新プログラムの 検討 ・和気あいあいサロンのプログラ ムの検討	5 名
9 月度定例会	9 月 3 日(水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F	・サロン笑話会の新プログラムの 検討 ・フィールドワークの検討	5 名
10 月度定例会	10 月 22 日(水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F	・11 月 13 日のスケジュールの確認 およびリハーサル	5 名
出前講座	11 月 13 日(木) 13:30~16:00 名古屋市瑞穂区サロン笑話会	・サロン笑話会における 「ACT de GO」の実施 ・終了後 11 月度定例会を実施	22 名
1 月度定例会	1 月 14 日(水) 10:00~12:00 伏見ライフプラザ 11F	・2 月 4 日のスケジュールの確認 およびリハーサル	5 名
出前講座	2 月 4 日(水) 13:30~16:30 名古屋市千種区 和気あいあいサロン	・和気あいあいサロンにおける 「ACT de GO」の実施 ・終了後 2 月度定例会を実施	18 名
3 月度定例会	3 月 18 日(水) 15:00~16:45 伏見ライフプラザ 11F	・今年度の出前活動の振り返り ・次年度フィールドワークの検討	5 名

(4) トピックス

高齢者サロンでの出前講座「消費者トラブルから身を守ろう～お役立ち隊 ACT de GO～」は、活動から 7 年目を迎え、交流がより深まっています。特に、訪問 6 回のサロン笑話会では、ACT の講座が「サロン笑話会だより」として大きく紹介されており、私たちも読むのが楽しみです。一方、活発な意見交換では、次年度へのヒントも頂きました。

活動エリアが拡大した千種区ではハプニングにも対応。その中で、こだわりのオリジナルプログラムや小道具へのお褒めの言葉は、大きな励みとなりました。ACT のモットーである「ともに考え、ともに楽しむ」を通じて、今後も新たな交流を深めていければと思います。

2026 年度活動方針

2026 年度も出前講座「お役立ち隊 ACT de GO」を活動の柱といたします。その活動の中で、各々の会員が積み上げてきた技術をさらに磨き上げ、出前講座のプログラムに反映することにより、講座参加者の皆様と会員双方が心温まる時間を共に過ごすよう努めてまいります。

2025 年度活動報告

(1) 会員数 : 26 名

(2) 活動方針：消費者の身近な話題や疑問からテーマを選定し、顧客満足の視点から企業、行政、消費者それぞれの問題点の抽出、対策の提案を行っていく。

(3) 行事内容：定例会を毎月第三土曜日の午後開催、Zoom も使ったハイブリッド開催
近年の旬の話題を研究した成果を名古屋市消費生活フェアに、出展しています。
調査のためのフィールドワークも積極的に実施しています。
また、年に1回、消費生活に関係する書籍を、選択し読書後、意見交換をしています。

開催日	テーマと概要	参加者
4月19日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画の検討(スケジュール、テーマ、フィールドワーク) じっくり研究する深掘りテーマ「温室効果ガス減らして、温度を下げる技術」と消費生活フェア発表テーマの2本建ての方針 共通の課題図書「農業が温暖化を解決する」と各個人の課題図書の感想共有、意見交換 	15名
5月17日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアへのテーマ決定 テーマは商品表示(子や孫への幸せな未来に繋げるマーク) 課題図書の感想共有、意見交換(継続) 	16名
6月21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアに向けて、各自スーパー等で商品表示(マーク)を市場調査し、その結果を共有、意見交換 課題図書の感想共有、意見交換(継続) 	16名
7月19日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 各自の市場調査したマークについて、選択理由(訴求点)を整理して話し合い、展示項目を選定 名古屋市消費生活フェア展示資料内容の検討 	14名
8月23日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアの展示内容の検討 フィールドワークの候補地の検討 	14名
9月27日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアの展示内容の検討 各自、商品サンプルを持ち寄り現物確認と展示品の決定 フェアに向けてお礼品準備、予算管理、役割分担等調整 	15名
10月25日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアの展示ビラ完成 フェアの段取り 	15名
10月30日(木) 31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 「中電テクノフェア」を各自のスケジュールに合わせて小グループ毎にフィールドワークし、市場課題や新技術等を見学しネタ探し 	8名
11月15日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェア出展(4人×4グループで運営) 来場者数273人(前年比+69%) 	16名
12月13日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアの振り返り、アンケート結果の共有、意見交換し、次回に向けてフィードバック フィールドワーク(中電テクノフェア見学)結果の共有 	15名
1月17日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 2026年度テーマと課題図書について検討し、テーマは一本化 	15名
2月21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 課題図書「エシカルフード」に決定 研究テーマは読書後に決定予定 フィールドワーク決定(4月11日:JT生命誌研究館見学) 	14名
3月21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 2026年度の課題図書を購入配布し読書開始 2026年度の体制決定。 2025年度の課題本についての残りの感想共有、意見交換し完了 	17名

(4) トピックス

2025年の取り組みについて、2024年度の振り返りのなかで、従来の活動は名古屋市消費生活フェアに向けて1年単位での研究結果発表となるため、内容が浅いと反省があり、もっと研究の深堀りがしたい、複数年かけてやりたいとの要望が上がりました。

そのため深堀りテーマ「温室効果ガス減らして、温度を下げる技術」と同フェアの「エシカル消費」にちなんだ「環境や社会にやさしい目印」商品表示の2本建てで進めました。

深堀りテーマは課題図書に選んだ「農業が温暖化を解決する」の読書感想の共有と意見交換をきっかけに、情報の収集や、フィールドワーク等で、温暖化ガス対策の知識を深化しました。

フェア向けでは、子や孫への幸せな未来に繋げるマークとして、様々な商品表示について市場で調べ、サンプルを集め、代表的なものを紹介し展示しました。

来場者数は273人（前年比 +69%）と増加しました。

全員で協力して、来場する皆さんが理解しやすいよう、また記憶に残るようなクイズを織り込んだ展示ポスターを作成しました。

2025年度活動の様様

◎名古屋市消費生活フェア：オアシス21で開催されました

持続可能な食生活を目指す「環境や社会にやさしい目印」として商品表示について提案
 <フェアの様子>



商品につけられたいろいろなマーク

お店で売られている商品にはいろいろなマークが表示されています

見たことがありますか？
 <マークの一例>



NACS 中部支部 AD-CS 研究会

環境や社会にやさしい目印
 ～子や孫の幸せな未来のために今出来ること～

みなさんはどのように商品を選んでいきますか？

同じような商品で迷ったとき、マークを目印にして、商品を選ぶのはいかがでしょうか？

マークから、何に配慮された商品かがわかります

豊かな森林
 教育を受ける機会
 豊かな海
 循環型社会

NACS 中部支部 AD-CS 研究会

このマークが何か知っていますか？

お買い物のときに思い出して、選ぶ目印にしましょう

 国際フェアトレード認証マーク 国際フェアトレード認証マーク 対象：コーヒー、紅茶、チョコレート、バナナ、綿製品など	 海のエコレベル 持続可能な漁業で獲られた水産物にのみこのマークを付与 対象：天然物介類とその加工品	 エコマーク 環境保全に役立つ商品やサービスにのみこのマークを付与 対象：文具、家電、包装、サービスなど	 みえるらべる 農産物で環境負荷低減の取り組みを数で示すマーク 対象：農産物とその加工品	 RSPO認証マーク 持続可能なパーム油を使用する製品にのみこのマークを付与 対象：食品、化粧品、洗剤など
知っているマークにシールを貼ってください				

2026年度活動方針

今年度も名古屋市消費生活フェア「なごやエシカルフェア☆2026」（10月24日 土曜日、at イオンモール ナゴヤドーム前）へ出展します。

発表テーマは現在検討中です。

さあ、あなたも、私たちと一緒に活動してみませんか？

まずは、見学から始めてみましょう。オンラインでの見学も出来ます。

ご興味がありましたら ADCS@chuubu.nacs.or.jp までご連絡のほど、お願いいたします。

あなたのご参加をお待ちしています。

2025 年度活動報告

(1) 会員数 : 9 名

(2) 活動方針：身近な食生活の話題を取り上げ学習し、情報を発信し、提言することを活動目的にしている。健康で楽しく豊かな食生活のために、勉強会や講座等を開催している。

(3) 行事内容

行事	開催日時・場所	内容	参加数
定例会①	5 月 15 日(木) 20:00~21:00 オンライン会議	・今年度の活動、テーマについて ・最近気になる麴や食品について情報交換	7 名
定例会②	7 月 25 日(金) 20:00~21:00 オンライン会議	・メンマについて ・発酵食品の世界地図から （海外の発酵食品） ・最近気になる話題 （高岡銅器のポットで作るお酒等）	7 名
定例会③	9 月 20 日(土) 20:00~21:00 オンライン会議	・見学会や講座についての計画 ・最近気になる話題（麴パウダー等）	6 名
勉強会	12 月 17 日(水) 10:00~12:00 千種区星ヶ丘テラス TOMOCAFF'E	醤油麴講座 講師 TOMOCAFF'E オーナー 早川友子氏 ・講座受講、醤油麴づくり	8 名
定例会④	2 月 6 日(金) 20:00~21:00 オンライン会議	・次年度役員決め ・醤油麴講座の感想・意見交換等	6 名

(4) トピックス

- ・「発酵」をテーマにし、発酵・醸造業の盛んな東海地域の伝統的な食文化を理解し・応援する活動に取り組んでいます。
- ・2025 年度は、「発酵」や「発酵食品」に関する話題について、メーリングリストや定例会にて情報交換をしたり、「醤油麴講座」を受講し、麴についての理解をさらに深めました。

2026 年度活動方針

2026 年度は、引き続き「発酵」について活動する予定です。「発酵」について学び、発酵の正しい知識をより深めます。また、発酵以外にも、新しいテーマとなる食の話題も検討中です。

2025 年度活動報告

(1) 会員数 : 12 名

(2) 活動方針 : 【2024 年 6 月度に設立が承認され、8 月より活動を開始した新しい自主研究会です】

『超スマート社会のあるべき姿と実現に向けた取り組み内容を把握・研究し、NACS の各種活動と連動して、超スマート社会実現に向けた未来志向的活動(消費者啓発啓蒙活動・教育人材育成活動・提案提言活動など)を長期にわたり継続していく』

【スローガン】 : 『生きがいのある明るく楽しい活動の場を創ろう! (そのために)
みんなで一緒によりよく考え良い活動をしよう! 』

(3) 行事内容 :

① 定例会…基本的には、月 1 回、土曜日、11 時 30 分～12 時 45 分に開催する。

開催場所は、名古屋市消費生活センター内 11 階『消費者活動ルーム』を利用

② 定例会以外のアクティビティ(フィールドワーク、セミナー、講演会、視察、イベントなど)への参加及び開催企画運営については、計画的に実施しています。

③ 2025 年 5 月から 2026 年 3 月までの定例会とアクティビティ(次頁)は以下の通りです。

開催日時	定例会のテーマと概要	参加者
5 月 17 日(土) 11:30～12:45	・ 2025 年度研究会活動計画について(標準化事業・ICT 事業など) ・ 行政連携イベントへの新たな出展計画予定についての説明と討議 ・ 中部大学との連携内容、フィールドワーク案について検討	11 名
6 月 21 日(土) 11:30～12:45	・ フィールドワーク案説明と参加検討・標準化事業計画説明と検討 ・ 名古屋市「環境デーなごや 2025」出展計画と内容について討議	11 名
7 月 19 日(土) 10:00～12:00	・ 公開講座(標準化委員会・消費者教育支援室共催)を全員で web 受講 ・ 「いま大学教育で何が求められているか」(講師)淑徳大学 副学長	12 名
7 月 19 日(土) 12:00～12:50	・ 9 月 13 日「環境デーなごや 2025」出展計画について諸々説明等 ・ ブース出展内容原案説明「レッツエンジョイエシカルライフ」検討	12 名
8 月 23 日(土) 11:30～12:55	・ 「環境デーなごや 2025」展示パネル検討決定、運営役割分担決定 ・ 9/16「中部大学学生との意見交換会」内容、参加者等説明と決定	9 名
9 月 27 日(土) 11:30～12:55	・ 「環境デーなごや」出展結果と反省確認、次回出展への改善策検討 ・ 10/19「Let's エコアクション in AICHI」出展内容、役割分担決定 ・ 9/16「中部大学 ESD エコマネーチーム意見交換会」の結果と今後	12 名
10 月 25 日(土) 11:30～12:45	・ 「NACS 標準化セミナー in 中部大学」11/26 と 12/3 の開催内容説明 ・ 標準化セミナーの日別参加者決定、役割分担説定、その他詳細検討 ・ 10/19「Let's エコアクション in AICHI」出展結果と反省など	11 名
11 月 22 日(水) 11:30～12:50	・ 11/26「NACS 標準化セミナー in 中部大学」開催直前最終打合せ ・ 名古屋市と愛知県の行政連携イベントへの出展結果と次年度検討	10 名
12 月 13 日(土) 14:00～15:30	・ 標準化セミナー開催報告、参加者からの各自報告、今後の予定など ・ ICT 事業関係の進捗説明と現在までの成果報告、今後の予定検討	11 名
1 月 17 日(土) 11:30～12:30	・ 標準化委員会及び事業の今後のスケジュールについて説明確認 ・ 次年度活動に向けたフィールドワーク案提案、今後の予定検討	9 名
2 月 21 日(土) 11:40～12:45	・ 本部標準化事業の活動説明、「標準化のたね」全国分集計結果解説 ・ 次年度の研究会活動についての意見交換、米倉さんの提案説明等	10 名
3 月 21 日(土) 11:30～12:45	・ 次年度研究会活動案について検討、アクティビティ関係の予定説明 ・ 次年度標準化事業、ICT 事業関係について現状と次年度予定説明	11 名

(4) トピックス……定例会以外の 2025 年度のアクティビティは以下の通りです。

- ①09 月 13 日(土)… 名古屋市「環境デーなごや 2025」にブース出展しました。参加者 9 名
- ②09 月 16 日(火)… 中部大学にて学生さんと教材開発についての意見交換会開催、参加者 9 名
- ③10 月 19 日(日)… 愛知県「Let's エコアクション in AICHI」にブース出展。参加者 10 名
- ④11 月 26 日(水)… 「NACS 標準化セミナー in 中部大学」(前半)開催、ファシリテーターで参加
- ⑤12 月 03 日(水)… 「NACS 標準化セミナー in 中部大学」(後半)開催、コメンテーターで参加

〈各トピックスの画像〉は以下の通りです。



9 月 13 日 環境デーなごや 2025 出展ブース



9 月 13 日環境デーなごや 2025 運営メンバー



9 月 16 日 中部大学での意見交換会



10 月 19 日 Let's エコアクション in AICHI ブース



11 月 26 日 標準化セミナーグループワーク



12 月 3 日 中部大学標準化セミナー成果発表会

2026 年度活動方針

- ① 「超スマート社会」についての研究を継続します。(科学技術・イノベーション基本計画確認)
- ② 「超スマート社会」の各種具体例をフィールドワークなどで学習します。
- ③ 標準化事業への参加を継続します。(標準化セミナーの開催、標準化のたね探し事業等)
- ④ ICT 事業への参加を継続します。(岐阜県の出前講座等、要望に応じて出張講座開催します)
- ⑤ 大学(中部大学等)との連携を継続します。(各種ミーティングの実施 等)
- ⑥ 行政との連携を図ります。(愛知県行政イベントへの参加、コラボ企画の実施 等)
- ⑦ 各種関係団体との連携を図っていきます。

以上

Ⅱ. 2025 年度予算執行状況

1. 収入の部

収入は昨年度に比べて約 6.6 万円の減額となりました。

なお、活動報告(P1)に記載した企業や行政と協働事業での収入は本部扱いのため割愛しました。

配分	2025 年度	2024 年度	差異	備考
会員基本割(253 名)	1,081,575	1,021,725	59,850	会員数増
賛助会員還元(2 社)	120,000	240,000	△120,000	賛助会員 2 社減
事業収入	10,000	10,000	—	損保助成金、日産協交流会助成金
特別収入	30,000	30,000	—	日産協原稿謝礼
合計	1,241,575	1,307,725	△66,150	

2. 支出の部

一部の事業収支が赤字となりましたが、全体では約 7 万 8 千円を残す結果となりました。

なお、残金の一部を次年度支部大会会場費に充てました。

区分		予算	支出	残高	
分科会 活動助成	静岡分科会	190,000	182,757	7,243	
	三重分科会	119,000	99,761	19,239	
	岐阜分科会	90,000	67,284	22,716	
	北陸分科会	100,000	0	100,000	
	分科会予備	13,575	0	13,575	
支部事業	4 研究会	80,000	62,040	17,960	
	研修委員会	160,000	59,808	100,192	
	事業委員会	83,000	144,361	△61,361	※1
	会員活動委員会	118,000	106,083	11,917	
	支部大会	120,000	130,198	△10,198	
	総務委員会	168,000	310,787	△142,787	※2
支部合計		1,241,575	1,163,079	78,496	

※1 事業委員会 新規イベント分+74,089 円

・行政との連携活動として新たに下記イベントに対応したため予算超過。

「環境デーなごや☆2025」「Let's エコアクション in AICHI」

※2 総務委員会

・運営委員会(原則月 1 回)、全体会議(3 月)の交通費、会議費等必要経費により予算超過。

今後予算配分の見直し検討が必要。

Ⅲ. 2026 年度運営方針、予算

1. 運営方針

支部会員の減少は、予算の縮減と活動の停滞という二面において、支部運営上の喫緊かつ最重要の課題となっております。

これまで支出の抑制に向け、印刷・郵送費の削減を主眼としたペーパーレス化を推進してまいりましたが、予算の減少分を補填するまでには至っておりません。さらに、昨今の物価高騰が運営を圧迫しており、今後は一段の支出削減とともに、支出の見直しが不可避な状況にあります。

会員活動におきましては、新会員の入会促進を目的とした「新資格者歓迎会（3月）」や、日産協共催の「資格者交流会（7月）」を開催してまいりましたが、参加者は減少傾向にあり、十分な入会者確保に繋がっていないのが現状です。

一方、新たな試みとして「LINE オープンチャット」を活用した交流の場を構築いたしました。これにより会員間の相互研鑽と活性化が期待されます。

本年度は、これら諸課題に対し、以下の通り重点的に取り組んでまいります。

(1) 支出削減と予算配分の再構築

郵送費および振込手数料等の事務コストを徹底して精査し、削減を図ります。

支部全体に関わる事業予算について、優先順位に基づき適正な配分への再編をいたします。

(2) 会員活動の活性化と組織基盤の強化

入会促進や会員向けイベントの質向上を図るとともに、生成 AI 等のデジタル技術を活用検討し支部運営の負担軽減を図ります。

本部事業を支える次世代の人材を育成し、組織の持続可能性を追求します。

(「シニアの ICT リテラシー向上」「標準化普及」「食品ロス削減」等)

2. 予算

〈収入〉 算出前提の会員割が昨年より減少しましたが、賛助会員入会があり 0.84 万円減となりました。

配分	2026 年度	昨年度	差異	備考
会員基本割(237 名)	1,013,175	1,081,575	△68,400	会員減△16 名
賛助会員還元(2 社)	180,000	120,000	60,000	入会 1 社
特別収入	30,000	30,000	0	日産協協力金※
合計	1,223,175	1,231,575	△8,400	

※2026 年度日産協協力金(原稿料)は北陸分科会会員に対する謝礼のため、北陸分科会の予算に繰り入れます。

〈予算配分〉

今年度から支部で企画開催する事業(支部大会、全体会議)を支部共通予算として計上した上で分科会並びに支部事業へ配分させていただきました。

予算区分	事業	配分額	備考
支部共通	支部大会(講演会等)	200,000	講師謝礼、交通費、会議費等
	支部全体会議	61,000	交通費、会議費等
分科会活動助成	静岡分科会	149,000	行事諸費用、会員 38 名(昨年 40 名)
	三重分科会	90,000	〃、会員 23 名(昨年 25 名)
	岐阜分科会	71,000	〃、会員 18 名(昨年 19 名)
	北陸分科会	109,000	〃、会員 20 名(昨年 21 名) 日産協協力金 30,000 円上乘せ
	予備予算	7,175	支部との通信料等
支部事業	自主研究会(4 研究会)	64,000	16,000 円/1 研究会
	研修委員会	120,000	研修会講師招聘等諸費用
	事業委員会	120,000	行政、企業等との連携行事諸費用
	会員活動委員会	70,000	会員入会促進等行事諸費用
	総務委員会	162,000	支部の運営に関する諸費用
	支部合計	1,223,175	

IV. 賛助会員・支部会員数

1. 支部関係賛助会員（五十音順）

中部電力ミライズ株式会社、東邦ガス株式会社、株式会社パロマ

2. 支部正会員 238名（2026年4月現在）

愛知県 137名、三重県 23名、岐阜県 18名、静岡県 38名、福井県 9名、石川県 3名、富山県 8名、東京都 1名、大阪府 1名

V. 2026年度運営体制 敬称略

◇運営委員（◎は委員長）

支部長	星野 不二雄
副支部長	北川 住江
会員活動委員会	◎山中 みゆき・田中 利樹
広報委員会	◎稲垣 隆信・中島 佳子・中山 好昭
研修委員会	◎日向 淑子・伊藤 昌伸・恒川 日出美・吉田 哲也
事業委員会	◎西田 敏明・山田 勲・河合 成信 池城 利江子・米倉 邦彦・櫻井 瑞恵
総務委員会	◎瀬古 昇一・長澤 公子・上田 之道（兼 会計担当）

◇分科会代表・副代表

静岡分科会	森田 拓（副）山岡 美須永
三重分科会	陰地 康行（副）田中 睦
岐阜分科会	山田 圭子（副）堀部 葉子
北陸分科会	橘 宏和（副）片谷 千恵子

◇研究会代表（設立順）

研究会 ACT	渡辺 景子
食生活研究会	中島 佳子
AD・CS 研究会	杉浦 健実
超スマート社会研究会	西田 敏明

◇代議員 9名（五十音順）

陰地 康行・北川 住江・瀬古 昇一・橘 宏和・中島 佳子・星野 不二雄
山岡 美須永・山田 圭子・米倉 邦彦

この報告書に関するお問合わせ、ご意見等は、中部支部総務委員会まで。

Eメール soumu@chuubu.nacs.or.jp



<https://nacs.or.jp/chuubu/>